

お客さま本位の業務運営に関する
取組方針および取組状況について

令和6年9月

但馬銀行
TAJIMA BANK

はじめに

株式会社但馬銀行は、お客様の資産運用・資産形成に関する業務において、お客様本位の取組みを実践するため、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「金融庁の原則」といいます。）に基づき、「お客様本位の業務運営に関する基本方針」（以下「基本方針」といいます。）を制定のうえ、基本方針に基づく取組方針および取組状況を定期的に公表しております。

今般、当行の基本方針に基づく取組方針および取組状況を公表いたしましたのでお知らせいたします。

今後につきましても、基本方針に則りお客様に満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

【基本方針】

1. 商品ラインナップの充実
2. お客様の立場に立った情報提供やコンサルティングの実践
3. お客様本位の態勢整備

【目次】

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求	… P 3
取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供	… P 1 4
取組方針 3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供	… P 1 9
取組方針 4. 利益相反の適切な管理	… P 2 4
取組方針 5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	… P 2 8

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

お客様のライフステージやニーズ・課題を起点として最適な商品・サービスを提供し、お客様が目指すゴールの実現と中長期的な資産形成に貢献することが金融機関の役割と考え、誠実・公正にお客様本位のコンサルティングを実践することにより、お客様の最善の利益を追求してまいります。

<取組状況>

・お客様の安定的な資産形成に有効な投資信託自動積立やNISA等の活用をご提案しており、投資信託の残高、投資信託自動積立の年間振替額、契約先数は着実に増加しています。

今後もこのような取組みを継続して推進し、お客様の最善の利益の追求に努めてまいります。

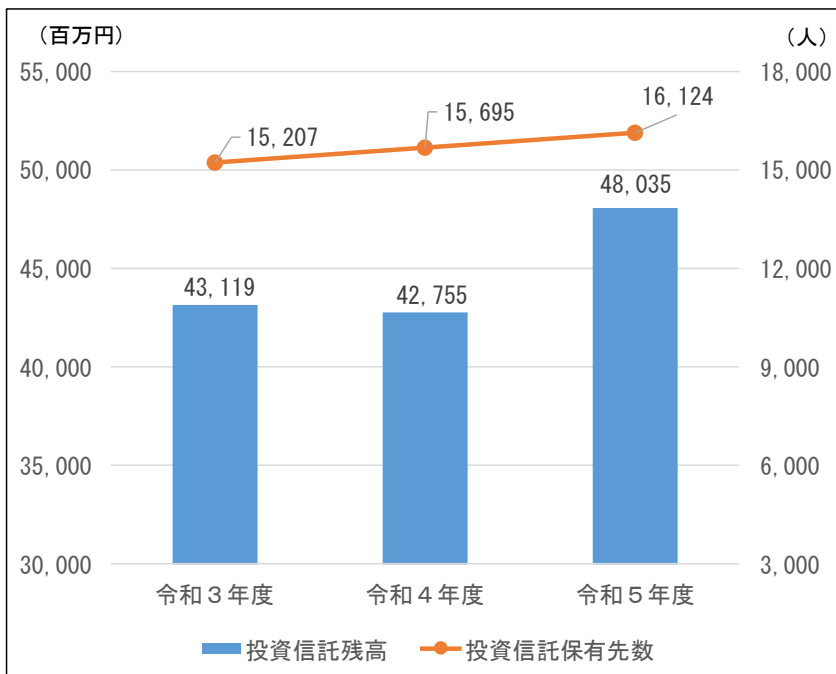
・「中期経営計画」（令和5年度～7年度）において、主要施策として「ライフサイクル・顧客ニーズに応じた資産形成支援」を掲げ、ライフステージに応じて、事業承継、相続対策、退職金運用、長期資産形成など、お客様のニーズを踏まえた提案により、お客様の利益に適う資産形成を支援してまいります。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

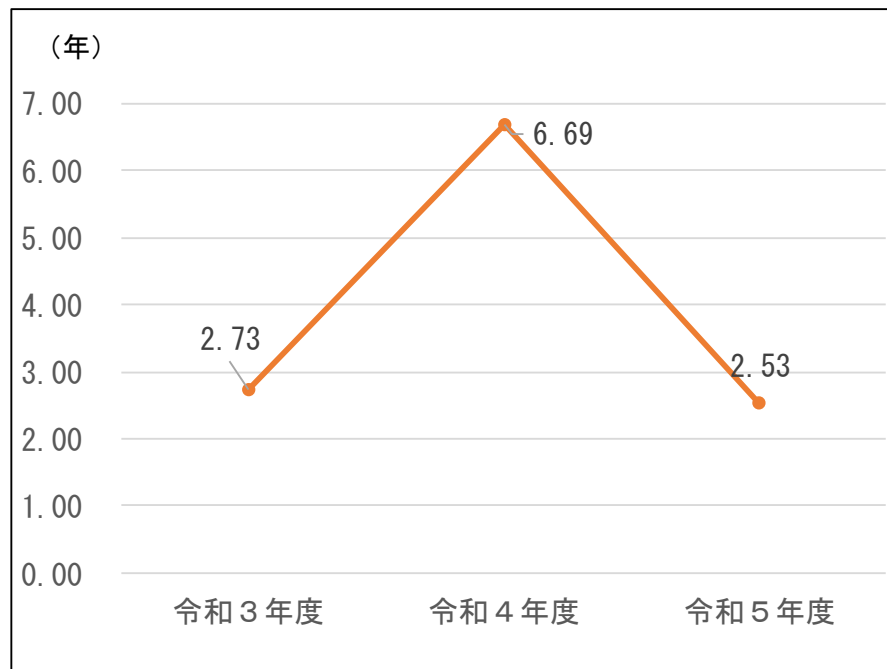
① 投資信託の残高・保有先数、平均保有期間

- ・新NISA制度の開始に伴い、投資信託の残高・保有先数は増加基調にあります。
- ・令和5年度においては、株式相場の上昇等を背景として利益確定売りによる解約が見られ、平均保有期間は2.53年となりました。

【投資信託の残高・保有先数】



【投資信託の平均保有期間】



※金融庁が公表した以下の算式で算出しています。

平均保有期間

= (前年度末残高 + 年度末残高) ÷ 2 ÷ 年間解約額 (償還含む)

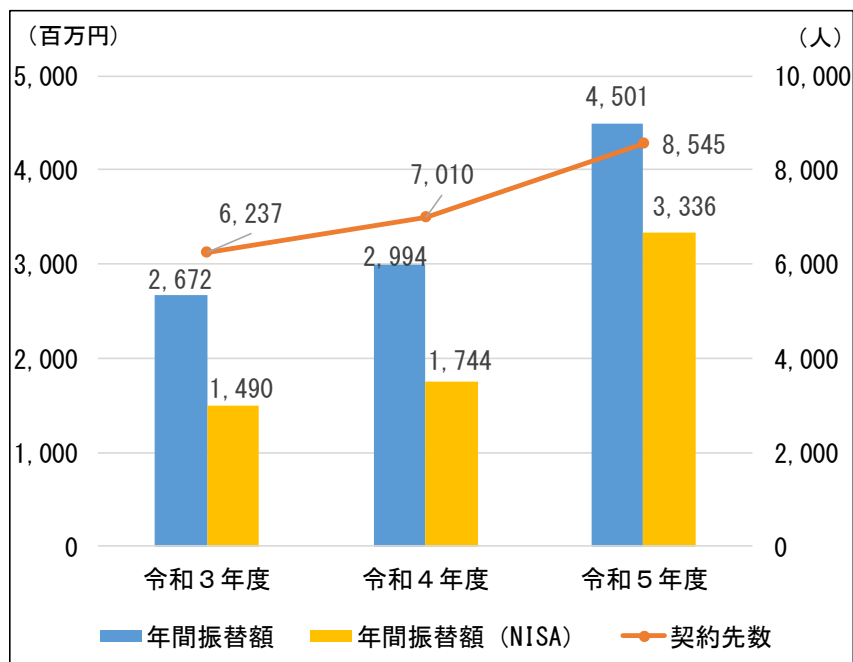
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

② 投資信託自動積立（年間振替額・契約先数）、N I S A 残高・口座数

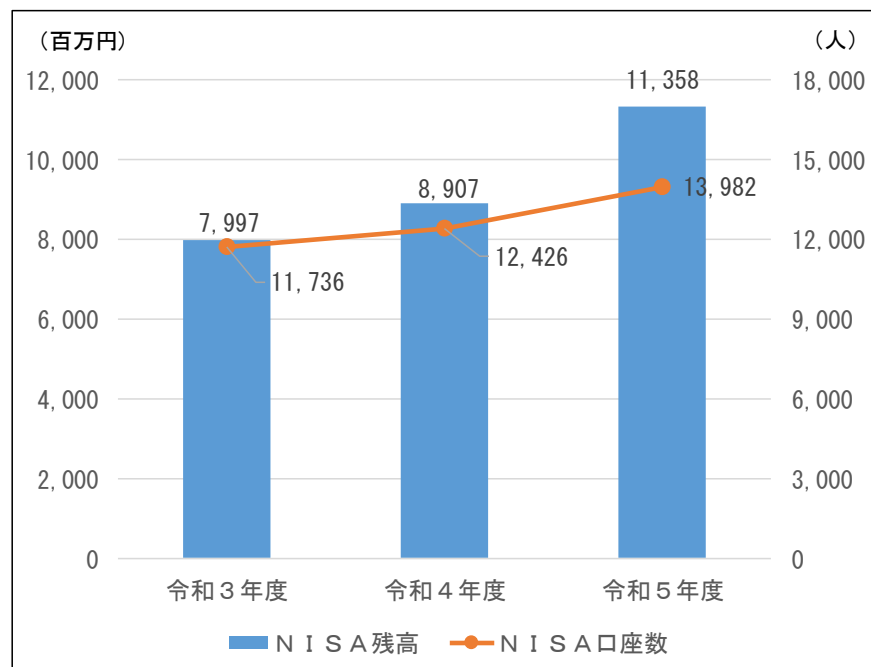
・資産形成ニーズのあるお客様に対して、中長期的な資産形成提案を積極的に実践した結果、投資信託自動積立にかかる振替額・契約先数は増加しております。

また、新N I S A制度の開始に伴い、N I S A 残高・口座数につきましても増加しております。

【投資信託自動積立（年間振替額・契約先数）】



【N I S A 残高・口座数】



取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【指標（投資信託の共通KPI）】

投資信託の共通KPIの内容

1. 運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客様について、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別に顧客比率を示した指標です。

個々のお客様が保有している投資信託について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

2. 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

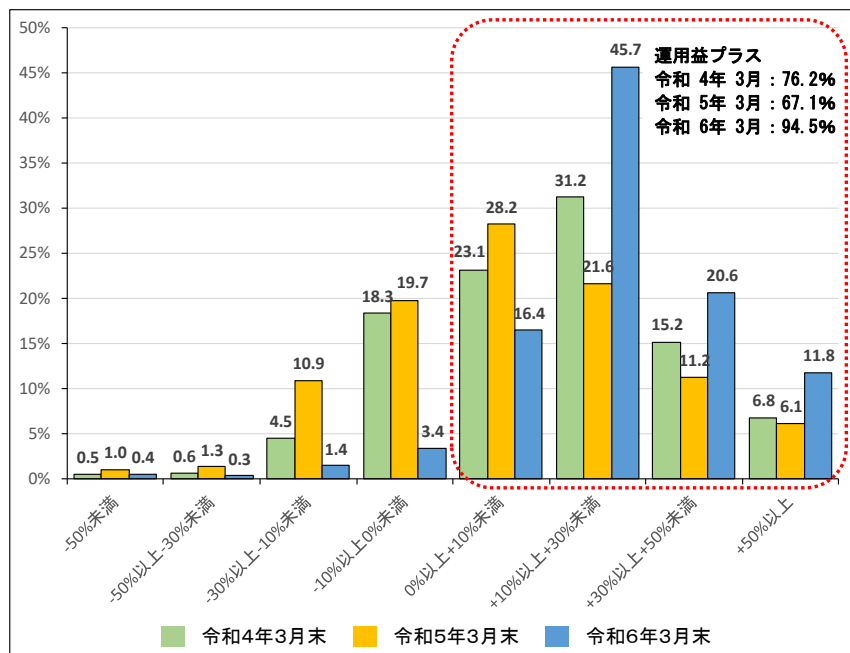
中長期的に、商品のリスク・コストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客様に提供してきたかを見ることができます。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

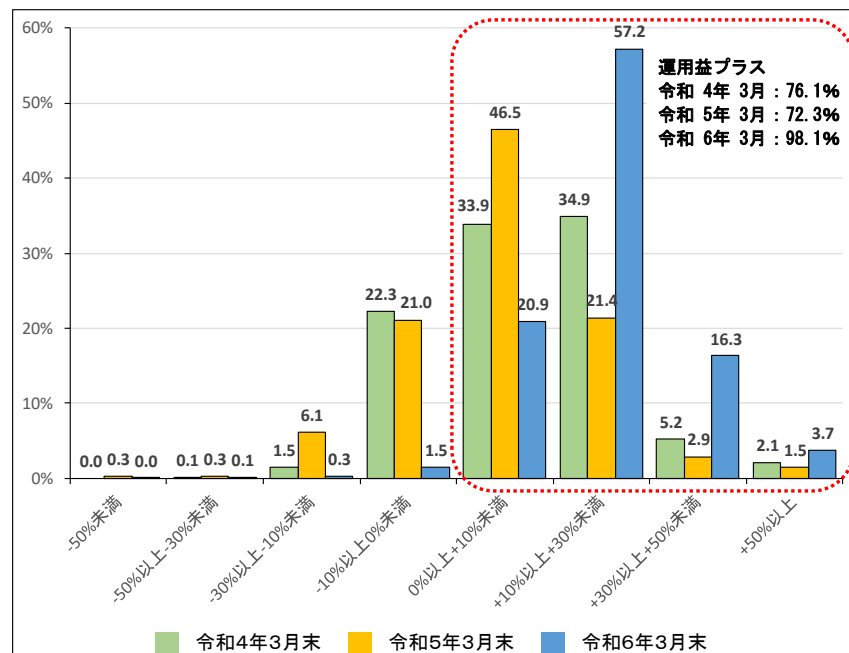
③ 投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）

- ・ 令和6年3月末基準で、投資信託を保有されているお客様の運用損益がプラスとなった比率は、94.5%となりました。
- また、投資信託自動積立サービスを契約されているお客様の運用損益がプラスとなった比率は、98.1%となりました。

【投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）】



【(参考) 投信自動積立契約先の運用損益別顧客比率】



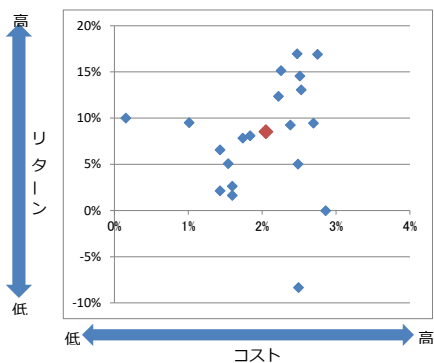
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

④ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（共通 K P I）

・ 令和 6 年 3 月末基準における投資信託の預り残高上位 20 銘柄の平均コストは 1.91%、平均リターンは 13.57%、平均リスクは 18.80%となりました。

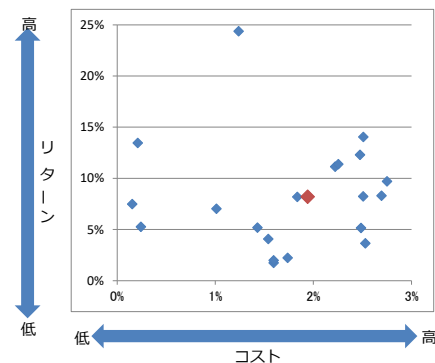
【投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（共通 K P I）】

〈令和 4 年 3 月末基準〉



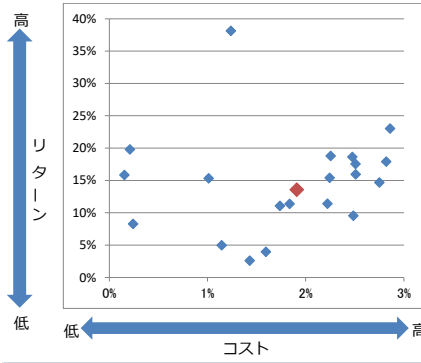
◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	2.05	8.53

〈令和 5 年 3 月末基準〉

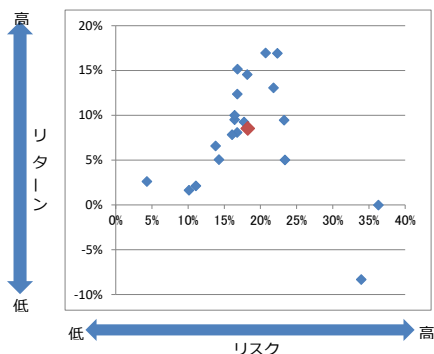


◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.94	8.20

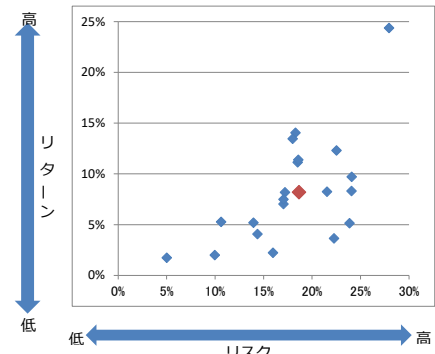
〈令和 6 年 3 月末基準〉



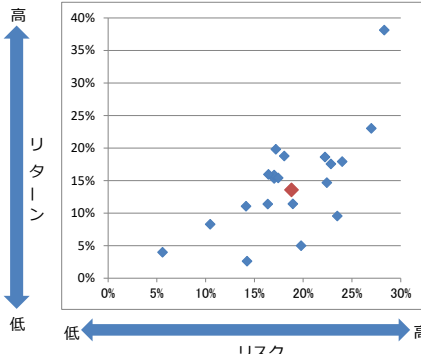
◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.91	13.57



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	18.25	8.53



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	18.64	8.20



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	18.80	13.57

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【投資信託の預り残高上位20銘柄（令和6年3月末基準）（共通KPI）】

（単位：％）

No	銘柄名	コスト	リターン	リスク
1	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22	11.41	18.94
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）（ラッキー・カントリー）	2.49	9.54	23.50
3	たんぎん世界好配当株式ファンド（毎月分配型）（ワールド・ドリーム）	1.84	11.38	16.36
4	ひふみプラス	1.74	11.06	14.13
5	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75	14.69	22.43
6	インデックスファンド225	1.01	15.33	17.02
7	明治安田J-REIT戦略ファンド（毎月分配型）（リート王）	1.43	2.60	14.25
8	次世代米国代表株ファンド（メジャー・リーダー）	2.26	18.78	18.07
9	iFree 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	0.21	19.81	17.19
10	FANG+インデックス・オープン	1.24	38.13	28.31
11	iFree 日経225インデックス	0.15	15.84	17.03
12	明治安田外国債券オープン（毎月分配型）（夢実現（毎月分配型））	1.60	3.98	5.58
13	次世代通信関連世界株式戦略ファンド（THE 5G）	2.51	17.55	22.85
14	JPMグローバル医療関連株式ファンド	2.51	15.94	16.43
15	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	1.14	4.99	19.79
16	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.24	15.41	17.43
17	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	2.48	18.63	22.23
18	HSBCインド・インフラ株式オープン	2.86	23.02	26.98
19	高成長インド・中型株式ファンド	2.82	17.92	23.99
20	iFree 8資産バランス	0.24	8.28	10.47

※金融庁が公表した以下の基準に基づき算出しています。

コスト：当行販売手数料上限（消費税込み）の1/5と+信託報酬率（消費税込み）の合計値

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【指標（外貨建保険の共通KPI）】

外貨建保険の共通KPIの内容

1. 運用評価別顧客比率

外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用評価別に顧客比率を示した指標です。

個々のお客さまが保有している外貨建保険について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

2. 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

契約後5年以上の外貨建保険の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

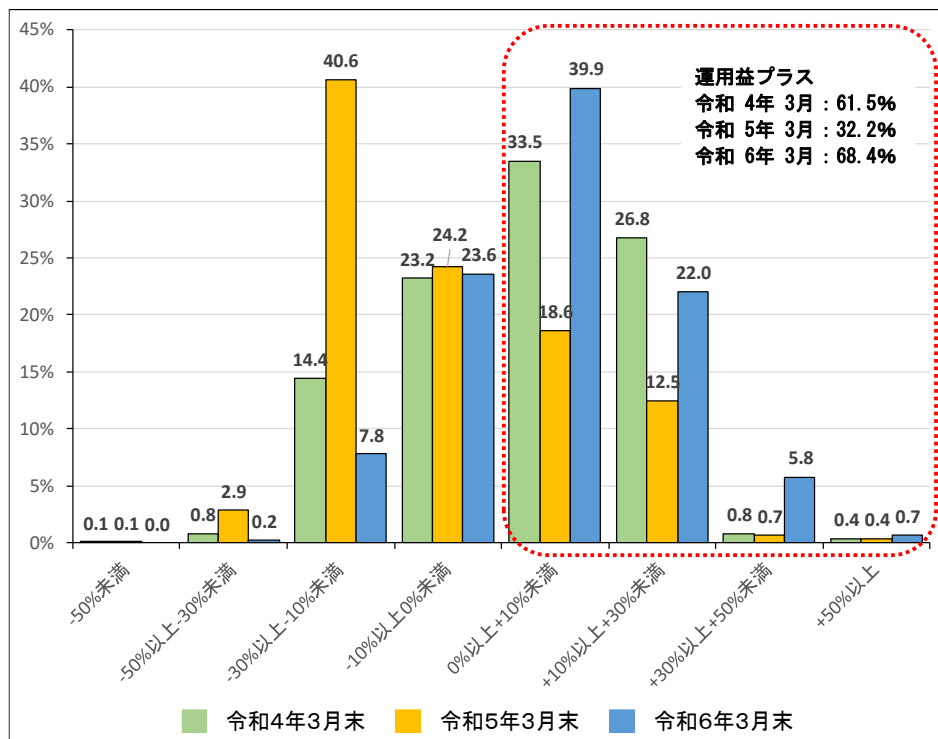
中長期的に、商品のコストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

⑤ 外貨建保険の運用損益別顧客比率（共通KPI）

- ・令和6年3月末基準で、外貨建保険を保有されているお客様の運用損益がプラスとなった比率は、68.4%となりました。

【外貨建保険の運用損益別顧客比率（共通KPI）】



注1. 本データは保険会社が保有している当行分契約データから算出しています。

2. 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
3. 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。
4. 保険商品が有する保障機能は算出するリターンには反映されておらず、投資信託と単純に比較することはできません。

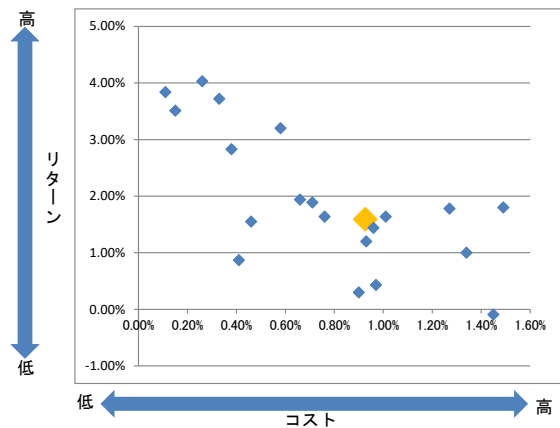
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

⑥ 外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン（共通 K P I）

・ 令和 6 年 3 月末基準における外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄の平均コストは 0. 7 9 %、平均リターンは 2. 5 9 %となりました。

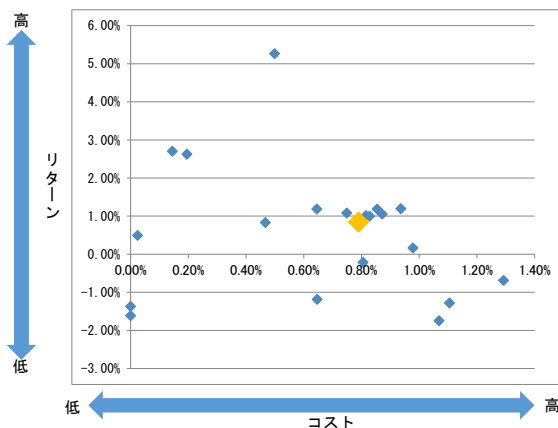
【外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン（共通 K P I）】

〈令和 4 年 3 月末基準〉



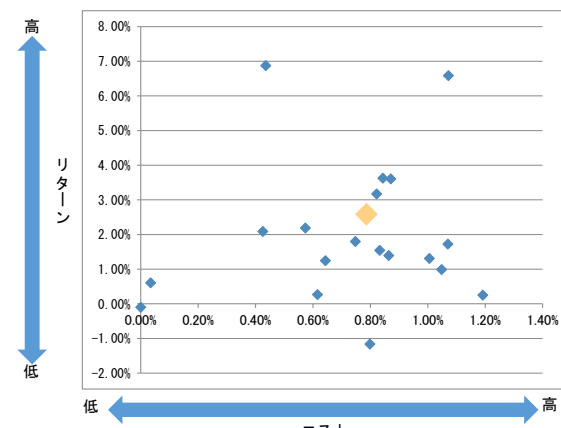
◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	0.93%	1.59%

〈令和 5 年 3 月末基準〉



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	0.79%	0.84%

〈令和 6 年 3 月末基準〉



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	0.79%	2.59%

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【外貨建保険の預り残高上位 20 銘柄（令和 6 年 3 月末基準）（共通 K P I）】

（単位：％）

No	商品名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.87	3.60
2	たのしみ、ずっと	0.79	2.50
3	サニーガーデン	0.57	2.19
4	しあわせ、ずっと	0.75	1.80
5	プレミアムプレゼント	0.82	3.17
6	ロングドリームGOLD2	1.07	6.58
7	やさしさ、つなぐ	0.62	0.27
8	ビーウィズユー	0.64	1.24
9	ビー ウィズ ユー プラス	1.05	0.99
10	ダブルアカウント・グローバル	1.01	1.31
11	ロングドリームプラス	0.00	△ 0.10
12	アップサイドプラス	1.19	0.25
13	ロングドリームGOLD	0.83	1.55
14	プレミアストーリー2	0.84	3.63
15	My年金外貨	0.44	6.88
16	プレミアベスト	1.07	1.72
17	エクセレントライフ	0.80	△ 1.16
18	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.86	1.40
19	ロングドリーム	0.03	0.61
20	三大陸	0.43	2.09

※金融庁が公表した以下の基準に基づき算出しています。

コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間（月単位）で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均

リターン：（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均（いずれも円換算）

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客さまにご負担いただく手数料等の費用が、どのようなサービスに対する対価であるかを含め、各種手数料の透明性の向上を図るとともに、手数料体系の分かりやすい情報開示に努めてまいります。
- ・お客さまへの商品提案の際には、多様な商品を比較することが容易になるように配慮した「重要情報シート」等分かりやすい資料を用いて、比較可能な複数の商品を提案するなど、商品特性・リスク特性・手数料等投資判断に影響を及ぼす重要な情報について、分かりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
- ・複数の金融商品をパッケージにした商品の勧誘・提案にあたっては、運用対象として比較可能な他の金融商品を含めて提案し、お客さまにとって最も有効な運用方法を判断いただけるよう、情報提供に努めてまいります。

<取組状況>

- ・お客さまにご負担いただく手数料の説明にあたっては、商品パンフレットや目論見書等のほか、「重要情報シート」（個別商品編）を活用し、より一層お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供に努めております。
- ・「外貨建て商品での資産運用をご検討のお客さまへ」を活用して、外貨預金・外貨建債券・投資信託、外貨建保険など類似する金融商品の商品特性、リスク、費用等を横断的に説明し、お客さまにとって最適な商品を選択いただけるよう情報提供に努めております。
- ・当行ホームページ上に、投資信託の基準価額、手数料等のご案内に加え、商品間の比較、収益率・シャープレシオなど運用パフォーマンスが良好な商品順に表示できるツール（Web Asset Manager）を提供しており、対面・非対面問わずお客さまの投資判断に必要な情報の提供に努めております。

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考）重要情報シート】

①金融事業者編

一定の投資性商品の販売・商品仲介に係る
重要情報シート（金融事業者編）

1 当行の基本情報（当行はお客さまに金融商品の販売または販売仲介をする者です）

社名	株式会社 但馬銀行	
登録番号	近畿財務局長（登録）第14号	
加入協会	日本証券業協会	
当行の概要を記載したウェブサイト	https://www.tajimabank.co.jp	

2 取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

円貨預金	<input type="radio"/>	円建て債券	<input type="radio"/>
外貨預金	<input type="radio"/>	外貨建て債券	<input type="radio"/>
投資信託	<input type="radio"/>	特殊な債券（仕組債等）	<input checked="" type="radio"/>
保険商品（投資性なし）	<input type="radio"/>	ラップ口座	<input checked="" type="radio"/>
保険商品（投資性あり）	<input type="radio"/>	ETF、ETN	<input checked="" type="radio"/>
国内株式	<input checked="" type="radio"/>	REIT	<input checked="" type="radio"/>
外国株式	<input checked="" type="radio"/>	その他上場商品	<input checked="" type="radio"/>

上記以外の商品等 個人向け国債・NISA・つみたてNISA・iDeCo等もご用意しております。

※1 野村證券の金融商品仲介口座での取扱

3 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- お客さまのライフプランの実現にお役に立てるよう、お客さまの様々なニーズにお応えするために必要な商品を取り揃えています。
- お客さまにふさわしい金融商品・サービスを提供する観点から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行ったうえ、定期的に投資信託や生命保険の新商品を導入するとともに、既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでおります。
- 投資環境やお客さまのニーズの変化等に適切に対応し、中長期的な資産形成に資する商品ラインナップになるよう努めております。

4 苦情・相談窓口

当行お客さま相談窓口	0120-164-230 (受付時間：平日 9:00～17:00)
全国銀行協会相談室	0570-017109 (03-5252-3772) (受付時間：平日 9:00～17:00)
	証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC） 0120-64-5005 (受付時間：平日 9:00～17:00)
加入者協会共通の相談窓口	03-3286-2648 (受付時間：平日 9:00～17:00)
	生命保険協会 生命保険相談所
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 (03-5251-6811) (受付時間：平日 10:00～17:00)

2022年7月現在

 但馬銀行

②個別商品編（抜粋）

 但馬銀行

重要情報シート（個別商品編）
ひふみワールド+

使用開始日：2024年06月08日

1 商品等の内容（当行は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	ひふみワールド+
組成会社（運用会社）	レオス・キャピタルワークス株式会社
販売委託先	レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品の目的・特徴	受益者の長期的な資産形成に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、マザーファンドを通じて日本を除く世界各国の株式等に投資することにより増殖運用を行います。日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長が早いと判断される銘柄を中心に選定して投資します。株式の購入比率は投資に依りて変化します（投資比率は最大9%未満まで保有することが可能な仕組みです）。株式の購入履歴については、原則として為替ヘッジを行いません。
商品組成に際する事務者が設定する購入額	○元本割れリスクを許容する方 ○中長期での資産形成を目的とする方 (たとえば、株式の成長を期待したいとお考えの方、つみたてによる資産形成をお考えの方、投資を通じて未来を豊かにしたいとお考えの方)
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという判断はありますか？
- ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けられることができますか？
- ・この商品が複数の商品を含められるものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としているため、市場や為替の動きによる価格変動のほか、投資先などの経歴や債務不履行による影響を受け、元本欠損が生じる可能性があります。当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。（詳しくは目録見書をご覧ください。）
価格変動リスク/流動性リスク/信用リスク/為替変動リスク/コントリビューション（エマージング市場に関するリスク）

【参考】過去1年間の収益率 35.4% (2024年5月末現在)

【参考】過去5年間の収益率 平均19.7% 最低-13.7% (2022年12月) 最高66.8% (2021年3月)
(2020年12月～2024年5月の各月末における直近1年間の数字) ※設定日以降のデータで表示しています。

※損失リスクの内容の詳細は交付目録見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は「運用実績」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	お申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、下記の手数料率をお申込金額に乘以得た金額とします。なお、お申込手数料には消費税等相当額がかかります。 1億円未満：3.3%（税込3.6%） 1億円以上：1.98%（税込2.1%）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）：ファンドの純資産総額に対して年率1.628%（税込1.48%）以内の率を乗じた額 その他費用・手数料が実費でファンドから支払われます。これらは事前に利率を表示することができません。
運用成績に応じて支払う費用（成功報酬など）	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は交付目録見書の「ファンドの費用」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・この投資信託に1億円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
- ・費用が安い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

2022年7月現在

 但馬銀行

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考）説明資料「外貨建て商品での資産運用をご検討のお客さまへ」（表面）】

		外貨預金	外貨建て債券	投資信託	外貨建て定額保険 (保険料一時払)
<p>下表に記載する内容の詳細は、商品ごとに異なります。詳しくは、各商品のパンフレット等でご確認ください。</p>					
<h3>外貨建て商品での資産運用をご検討のお客さまへ</h3>					
<p>しきみ、特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本円を外国通貨に両替して預け入れる預金 ● 一般に、外貨定期預金は固定金利、外貨普通預金は変動金利 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国や企業などが発行する債券のうち、購入代金の払い込みや利息・償還金受け取りすべてが外貨で行なわれる債券 ● 保有期間中の利子と、満期時に元本が償還されることが、発行体により約束される 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用の専門家が公社債や株式など様々な投資先に分散投資・運用するしくみの金融商品 ● 少額投資非課税制度 (NISA) を活用することで値上がり益や普通分配金にかかる税金が非課税となる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資産運用と保障機能をあわせ持ち、払い込んだ保険料を外貨で運用するしくみの保険商品。死亡保険金などの「保障」と、相続・贈与・介護などに備えるための「機能」に応じて、終身保険、個人年金保険などがある ● 税制メリット (相続税の非課税枠、保険料控除等) を活用できる <p><終身保険の例></p>	
<p>運用方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小額から外貨の投資を始めたい ● 換金のしやすさを重視したい など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な国・企業や通貨・年数で運用したい ● 利息を受け取りながら運用したい など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用のプロが選んだ株や債券などの組み合わせから自分で選択したい、NISAを活用したい など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保障機能や様々なしくみを活用しながら、円より利率の高い外貨建てで運用したい ● ライフプランに応じた必要な保障を準備したい など 	
<p>リスク・リターンに関するご意向</p>	<p>安全性重視</p>	<p>ある程度の収益性と安全性重視</p> <p>収益性重視</p>	<p>ある程度の収益性と安全性重視</p> <p>収益性重視</p>	<p>安全性重視</p> <p>ある程度の収益性と安全性重視</p> <p>収益性重視</p>	
<p>主なリスク</p>	<p>為替変動リスク</p>	<p>為替変動リスク</p> <p>信用リスク</p> <p>価格変動リスク</p> <p>流動性リスク</p> <p>カントリーリスク</p>	<p>為替変動リスク</p> <p>信用リスク</p> <p>価格変動リスク</p> <p>流動性リスク</p> <p>カントリーリスク</p>	<p>為替変動リスク</p> <p>信用リスク</p> <p>価格変動リスク</p> <p>流動性リスク</p>	
<p>一般的な費用イメージ</p>	<p>← 一般的に費用が低い</p>			<p>一般的に費用が高い →</p>	
<p>費用</p>		<p>所定の為替手数料</p>		<p>所定の為替手数料</p> <p>契約時費用</p>	
<p>購入・契約時</p>			<p>購入時手数料</p>	<p>保険料 保険費用 など</p>	
<p>保有・契約期間中</p>			<p>信託報酬 (運用管理費用) など</p>		
<p>換金・解約時</p>		<p>所定の為替手数料</p>	<p>信託財産留保額</p>	<p>所定の為替手数料</p> <p>解約控除</p>	

※制度内容および利率上のお取扱い、2023年7月1日現在の制度内容と利率に基づくもので、将来変更される可能性があります。なお、個別の税率取扱いについては所轄の税務署もしくは税理士等にご確認ください。

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考） Web Asset Manager画面】

① ファンド一覧（PC画面）

株式会社但馬銀行 登録金融機関

但馬銀行

ファンド一覧

基準価額 | 手数料・取引方法 | 分配金・情報BOX | リスク・リターン

お取り扱い | 販売停止

すべて | 株式（国内） | 株式（海外） | 債券（国内） | 債券（海外） | バランス | REIT（国内） | REIT（海外） | その他

132件 1件~100件を表示

選択したファンドを比較する

お気に入りのみ表示 ON OFF

株式投信・公社債投信

比較	ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (%)	異動リターン (%)						チャート	純資産額 (億円)	購入/お気に入り
				1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年			
<input type="checkbox"/>	株式（国内） つみたてNISA i Free 日経225インデックス	21,783 (08/31)	+0.89 (+192円)	-0.07	15.11	22.72	21.81	61.05	61.52		519	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	株式（海外） つみたてNISA i Free 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	28,723 (08/31)	+0.53 (+152円)	1.50	14.54	21.17	20.08	89.32	101.32		373	<input type="checkbox"/>

② ファンド一覧（スマホ画面）

但馬銀行 投信用語集 WEM+ Web Asset Manager

ファンド一覧 データ基準日 2024年6月末

基準価額

お取り扱い | 販売停止

すべて | 株式（国内） | 株式（海外） | 債券（国内）

お気に入りのみ表示 ON OFF

基準価額 | 手数料・取引方法 | 分配金 | リスク・リターン

128件 1件~100件を表示

並び替えなし

株式投信・公社債投信

比較する

株式（国内） つみたて投資枠対象

i Free 日経225インデックス

大和

基準価額(07/29) 26,096円 純資産額 811億円

前日比: +2.11% (+539円)

1ヵ月リターン	3ヵ月リターン	6ヵ月リターン
2.91%	-1.89%	19.22%

取組方針 2. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

【（参考） Web Asset Manager画面】

③ファンド比較画面（PC画面）

株式会社但馬銀行 登録金融機関

但馬銀行

メニュー ファンド一覧 > ファンド比較

ファンド比較表 ※最大5ファンド選択できます

ファンド名	株式（国内） つみたてNISA	株式（海外） つみたてNISA
	1 iFree 日経225インデックス	2 iFree 外国株式インデックス（為替ヘッジなし）
投信会社	大和	大和
購入		
お気に入り	<input type="button" value="♡"/>	<input type="button" value="♡"/>
設定日	2016/09/08	2016/09/08
運用年数	6年11ヵ月	6年11ヵ月
純資産額	519億円	373億円
累積リターン1ヵ月	-0.07%	1.50%
累積リターン3ヵ月	15.11%	14.54%
累積リターン6ヵ月	22.72%	21.17%
累積リターン1年	21.81%	20.08%
累積リターン2年	26.31%	32.23%
累積リターン3年	61.05%	89.32%
累積リターン5年	61.52%	101.32%

④ファンドランキング画面（PC画面）

株式会社但馬銀行 登録金融機関

但馬銀行

メニュー ファンドランキング

収益率 シアープレシオ 分配金 閲覧回数

すべて 株式（国内） 株式（海外） 債券（国内） 債券（海外） バランス REIT（国内） REIT（海外） その他

5年

選択したファンドを比較する

順位	比較	基準価額 (円)	前日比 (%)	シェアプレシオ			チャート	純資産額 (億円)	購入/ お気に入り
				1年	3年	5年			
1位	<input type="checkbox"/>	57,852 (07/29)	+0.40 (+233円)	3.68	1.09	1.68		300	<input type="button" value="購入"/> <input type="button" value="♡"/>
		株式（海外） 成長投資枠対象							<input type="button" value="♡"/>
		FANG+インデックス・オープン							<input type="button" value="購入"/> <input type="button" value="♡"/>
2位	<input type="checkbox"/>	34,814 (07/29)	+0.78 (+270円)	3.50	1.24	1.57		1,301	<input type="button" value="購入"/> <input type="button" value="♡"/>
		株式（海外） つみたて投資枠対象							<input type="button" value="♡"/>
		iFreeNEXT NASDAQ100インデックス							<input type="button" value="購入"/> <input type="button" value="♡"/>
3位	<input type="checkbox"/>	62,164 (07/29)	+0.90 (+555円)	3.69	1.52	1.46		1,444	<input type="button" value="購入"/> <input type="button" value="♡"/>
		株式（海外） 成長投資枠対象							<input type="button" value="♡"/>
		フィデリティ・米国優良株・ファンド							<input type="button" value="購入"/> <input type="button" value="♡"/>

取組方針 3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

・お客様の金融知識、取引経験、財産の状況、投資目的等をしっかりと伺いたうえで、お客様の属性やニーズに応じた最適な金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

なお、ご高齢のお客様に対しては、複数回の面談に加え、複数の職員での対応やご家族に同席いただくことで、より納得感のあるご提案となるよう努めてまいります。

・お客様にふさわしい金融商品・サービスを提供する観点から、想定されるお客様像やニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行ったうえ、投資信託・生命保険の新商品の導入や既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでまいります。

なお、商品性が複雑で、中長期的な資産形成に適さない商品は取扱わない方針としており、仕組債・仕組預金は取扱いしておりません。

・資産形成、資産運用等にかかる「お客様向けセミナー」・「職域セミナー」を定期的
に開催し、お客様の理解を深めていただく情報提供に努めてまいります。

・商品販売後も、安心して取引していただけるよう、お客様のニーズや市場環境の変化に応じて、お客様の運用状況や市場環境等の情報提供を適時・的確に行い、お客様の投資判断のサポートに努めてまいります。特に、ご高齢のお客様に対しては、担当している営業職員の上席者などから、商品内容のご理解状況や運用方針の変化の有無などの確認を含めてアフターフォローを行い、よりきめ細やかな情報提供に努めてまいります。

取組方針 3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

<取組状況>

- ・お客様の様々なニーズにお応えするため、定期的に商品ラインナップの見直しを行っております。令和5年度においては、中長期の資産形成が図れるよう、バランス型ファンドやつみたて投資枠対象ファンドを中心に投資信託のラインナップを拡充しております。
- ・資産形成をテーマとした「お客様向けセミナー」を定期的に開催しており、お客様の金融リテラシーの向上支援ならびに豊かで安心できるくらしの実現に向けた情報発信に努めました。

また、ご要望に応じて、職場でのセミナーも開催しております。

- ・当行では、商品販売後においても、安心して取引していただけるよう、定期的なアフターフォローに加え、お客様のニーズや市場環境の変化に応じて、お客様の運用状況や市場環境等の情報提供に努めております。

引き続き、お客様に寄り添った適時適切なアフターフォローに努めてまいります。

- ・新NISA制度の開始にあわせて、NISA口座を保有しているお客様に対して、リーフレットを活用しながらお客様のご意向を確認するなど適時適切なフォローアップを実施しました。

- ・ご高齢のお客様への商品提案にあたっては、複数の職員での対応やご家族に同席いただくことで、より納得感のあるご提案となるよう努めております。

取組方針3. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

⑦ アフターフォローの実施状況

- ・商品販売後も安心して取引していただけるよう、お客さまのご年齢や運用状況、市場環境の変化に応じて、適時・的確に情報提供を行い、お客さまの投資判断のサポートに努めております。
- ・特に、ご高齢のお客さまに対しては、健康状態や家族の状況に加え、購入・契約目的や資産運用に関する方針が当初購入・契約時から変化がないかなど、よりきめ細やかな確認を行うよう努力しており、リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有していただいているお客さまに対し、一定の条件のもとに実施しているアフターフォローの実施率は99%以上となっています。

【アフターフォローの実施状況】

	対象先	実施率
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託、生命保険、外国債券の販売先（75歳以上の高齢者） ・投資信託の販売先（ロシア関連ファンド保有先） 	99.24%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託、生命保険、外国債券の販売先（75歳以上の高齢者） 	99.39%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託、生命保険の販売先（75歳以上の高齢者） ・NISA口座保有先（一定条件あり） 	99.94%

※リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有していただいているお客さまに対し、高齢者や損失発生先など、一定の条件のもと半年に1回の周期でアフターフォローを実施しています。

※相場急変時には定期的なアフターフォローに加え臨時でアフターフォローを実施しています。

取組方針 3. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

⑧ 「お客様向けセミナー」の実施状況

・幅広い世代のお客様の金融リテラシー向上の取組として、ライフサイクルごとのテーマに沿ったオンラインセミナーを6回開催しました。

今後もお客様の資産形成にお役立てできるよう、また、お客様の金融・経済知識の理解をより深めていただけるよう、「お客様向けセミナー」を定期的を開催してまいります。

・お取引企業の従業員の方に資産形成をテーマとした「職域セミナー」を開催しました。

【「お客様向けセミナー」の実施状況】

テーマ	開催内容
かんたん！資産づくりセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいNISA制度について ・長期・積立・分散投資
セカンドライフマネーセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代、取り巻く環境について ・お金の色分け、備えについて
終活請負人が語る！終活と相続の秘訣！！	<ul style="list-style-type: none"> ・意外と知らない老後の落とし穴 ・将来の万が一への備えはできていますか～ ・3か月で理解・実践！ 相続準備のすべて～令和5年度最新ガイドライン～
おしえて！新しいNISA	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいNISA制度について ・世代別のNISAの使い方について
住宅ローン控除の確定申告の流れと賢く家計を見直すセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のライフイベントと必要なお金について ・家計見直しのポイント ・住宅ローン控除を受けるための流れについて
令和5年度税制改正大綱生前贈与と相続税	令和5年度税制改正による生前贈与や相続税の改正点について

取組方針 3. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

【（参考）新NISA制度にかかる各種リーフレット（抜粋）】

新しいNISA制度のご案内

「NISA（少額投資非課税制度）」とは

2014年1月にスタートした、少額からの投資を行うための非課税制度です。
例えば、投資信託に投資した場合、「普通分配金」と売却時の「譲渡益」にかかる税金（20.315%）が非課税になります。

2024年1月スタート！

新しいNISA制度のポイント

- 01 口座開設期間の恒久化**
これまでのNISA制度では口座開設期間が定められていましたが、2024年からは恒久化されます。
- 02 非課税保有期間の無期限化**
これまでのNISA制度では非課税保有期間が限られていましたが、2024年からは無期限になります。
- 03 成長投資枠とつみたて投資枠の併用が可能**
- 04 年間投資枠は360万円**
つみたて投資枠では年間120万円、成長投資枠では年間240万円まで投資が可能です。
- 05 非課税保有限度額は1,800万円**
単価(買付金額)ベースで1,800万円(うち成長投資枠は1,200万円)まで保有することができます。
- 06 非課税投資枠の再利用が可能**
非課税保有限度額1,800万円の枠内で保有している投資信託を売却した場合、翌年から枠の再利用ができます。

NISA制度の新旧比較

	2023年12月まで		2024年1月～	
	つみたてNISA	一般NISA	つみたて投資枠	成長投資枠
年間投資枠	40万円	120万円	120万円	240万円
非課税保有期間	20年間	5年間	無期限化	無期限化
非課税保有限度額	800万円	600万円	1,800万円 <small>※単価積算方式での算出(枠の再利用が可能)</small>	1,200万円(枠)
口座開設期間	2023年まで	2023年まで	恒久化	恒久化
投資対象商品	長期の優良・分散投資に適した一定の投資信託	上場株式・投資信託等	つみたてNISA対象商品と同様	上場株式・投資信託等(一定の投資信託等を除外)
対象年齢	18歳以上	18歳以上	18歳以上	18歳以上

(令和5年9月30日作成)

但馬銀行 TAJIMA BANK

地域とともに発展する

NISA口座をお持ちのお客さまへ

2024年以降の新しいNISA制度にかかるご留意事項

現行のNISA制度は、2024年以降、新しいNISA制度(以下、「新NISA」といいます)に移行されます。新NISAでは、年間投資枠が拡充され、非課税期間も無期限となります。これに伴い、現行のNISA制度での投資可能期間は2023年までとなります。制度移行において、いくつかの注意点がありますので、ご注意ください。

つみたてNISAで「たんざん投信自動積立」をご契約中のお客さま

- 現在ご契約中の「たんざん投信自動積立」は、2024年以降も新NISA(つみたて投資枠)に自動で契約が引き継がれます(お手続きは不要です)。
- 当行では、つみたてNISAで行われているたんざん投信自動積立のご契約を2024年1月以降、「つみたて投資枠でのたんざん投信自動積立のご契約」と読み替えさせていただきます。

→2024年以降「つみたて投資枠でのたんざん投信自動積立のご契約」を希望されないお客さまは、お手続きが必要となりますので、お早めにお取引店までご相談ください。

投資対象

- 「つみたて投資枠」対象ファンドは、現行つみたてNISAと同じです。

一般NISAで「たんざん投信自動積立」をご契約中のお客さま

- 「たんざん投信自動積立」で「NISA優先」をご指定された投資信託は、2024年以降も引き続き、新NISA(成長投資枠)での買付申込が優先されます(お手続きは不要です)。
- ご指定の投資信託が「成長投資枠」対象外となる場合、「NISA優先」のご指定であっても、2024年以降は課税での買付となりますのでご注意ください。

→課税での買付を希望されない場合、たんざん投信自動積立の中止にかかるお手続きが必要となりますので、お早めにお取引店までご相談ください。

投資対象

- 「成長投資枠」は、従来一般NISAの機能を引き継ぐものですが、対象商品には一定の制限が課せられました。

信託期間20年未満、高レバレッジ型および毎月分配型の投資信託は「成長投資枠」投資対象から除外されます。

※「成長投資枠」投資対象となる投資信託については、各運用会社が「成長投資枠」に適合する商品として一般社団法人投資信託協会に届出を行い、届出のあった商品について本協会が取りまとめるうえ、順次公表しています。対象として公表された後、対象外となる場合もありますのでご注意ください。

(令和5年9月30日作成)

但馬銀行 TAJIMA BANK

地域とともに発展する

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

お客様の利益を不当に害すること、例えばお客様の意向に沿わない手数料の高い商品・サービスや特定の会社の商品・サービスを優先して提案することのないよう、モニタリング等を通じて、お客さまとの利益が相反する可能性を正確に把握・管理し、適切に業務を遂行してまいります。

<取組状況>

- ・ 当行は、法令等および顧客保護等管理方針に従い、お客様の利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を管理する体制整備を行うため、「利益相反管理方針」を策定し、ホームページ（URL <https://www.tajimabank.co.jp/rieki>）に概要を公表しております。
- ・ 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、お客様の多様なニーズにお応えできるよう多様な商品ラインナップを取り揃えております。
- ・ 令和5年度において、特定の投信会社または保険会社の販売偏重は見られませんでした。
- ・ 営業部門から独立した管理部門によるモニタリングを通じて、お客さまとの利益が相反する可能性を把握・管理しております。

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

⑨ 投資信託・生命保険商品ラインナップ

・令和5年度においては、新NISA制度の開始に向けて、投資信託の取扱商品ラインナップを125商品から128商品に見直しを行いました。今後も継続的なモニタリングを行い、必要に応じて商品ラインナップの整備に努めてまいります。

【投資信託商品ラインナップ（令和6年3月末基準）】 【生命保険商品ラインナップ（令和6年3月末基準）】

投資対象	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	2	1.5%
国内株式	21	16.4%
海外債券	22	17.1%
先進国	11	8.5%
ハイイールド	2	1.5%
新興国	9	7.0%
海外株式	40	31.2%
先進国	29	22.6%
新興国	11	8.5%
国内REIT	5	3.9%
海外REIT	10	7.8%
バランス型	24	18.7%
その他	4	3.1%
合計	128	100.0%

	保険種類	取扱商品数	取扱商品比率
一時払い	円建て	3	16.6%
	定額終身保険	2	11.1%
	変額終身保険	1	5.5%
	外貨建て	15	83.3%
	定額個人年金	5	27.7%
	変額個人年金	1	5.5%
	養老保険	0	0.0%
	定額終身保険	9	50.0%
	合計	18	100.0%

	保険種類	取扱商品数	取扱商品比率
平準払い	定額個人年金	2	10.0%
	終身保険	2	10.0%
	収入保障保険	2	10.0%
	変額保険	2	10.0%
	医療保険	6	30.0%
	介護保険	2	10.0%
	就業不能保険	1	5.0%
	がん保険	3	15.0%
	合計	20	100.0%

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

【（参考）投資信託販売上位 10 商品（令和 5 年度）】

順位	投信会社名	商品名	投資対象
1	レオス・キャピタルワークス	ひふみワールド [®] +	海外株式
2	大和アセットマネジメント	米国株式インデックス(S&P500)	海外株式
3	大和アセットマネジメント	ダウ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	海外REIT
4	三菱UFJアセットマネジメント	次世代米国代表株ファンド [®]	海外株式
5	三井住友DSアセットマネジメント	米国分散投資戦略ファンド [®] (5倍コース)	バランス
6	大和アセットマネジメント	FANG+インデックス・オープン	海外株式
7	レオス・キャピタルワークス	ひふみプラス	国内株式
8	三井住友DSアセットマネジメント	高成長インド・中型株式ファンド [®]	海外株式
9	日興アセットマネジメント	インデックスファンド [®] 225	国内株式
10	HSBCアセットマネジメント	HSBC インド・インフラ株式オープン	海外株式

取組方針 4. 利益相反の適切な管理

【（参考）一時払保険販売上位 10 商品（令和 5 年度）】

順位	保険会社名	商品名	通貨	種類
1	日本生命保険	ロングドリームGOLD3	外貨	定額終身
2	三井住友海上プライマリ生命保険	しあわせ、ずっと3	外貨	定額終身
3	太陽生命保険	長生きMy介護	円貨	介護
4	メットライフ生命保険	サニーガーデンEX	外貨	定額終身
5	第一フロンティア生命保険	プレミアプレゼント3	外貨	定額終身
6	T&Dフィナンシャル生命保険	ハイブリッドあんしんライフ	円貨	変額終身
7	三井住友海上プライマリ生命保険	みのり10年	外貨	定額個人年金
8	メットライフ生命保険	ビーウィズユープラスII	外貨	定額終身
9	日本生命保険	夢のかたちプラス毎年逡増型	円貨	定額終身
10	三井住友海上プライマリ生命保険	やさしさ、つなぐ2	外貨	定額終身

取組方針5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- ・ 定期的な研修等を通じて、お客さま本位の業務運営を実践するよう行内に浸透させるとともに、高度な専門性と倫理観を持ち、誠実かつ公正に業務を遂行する人材の育成に努めてまいります。
- ・ お客さまの安定的な資産形成に資するため、「トレーニー制度」などの職員に対する教育・研修体制の充実に努めるとともに、公的資格取得を奨励するなど、コンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めてまいります。
- ・ お客さまの安定的な資産形成に資する営業活動を評価するため、投資信託残高の増加、投資信託自動積立期中振替額、NISA口座数、アフターフォロー実施率にかかる評価項目を組み入れるなど、業績評価体系の整備に努めてまいります。

<取組状況>

- ・ お客さまの資産形成やライフステージに応じたふさわしい金融商品・サービスを提案できるよう、商品知識の習得やコンサルティング提案スキルの向上、コンプライアンスの遵守を目的とした研修会を定期的で開催し、職員に対する教育・研修体制の充実に努めております。
- ・ 少人数制の「トレーニー制度」やスキルアップ研修会の開催、様々な公的資格取得の奨励などにより、コンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めております。
- ・ 「NISA口座数」、「NISA残高」、「アフターフォロー実施率」を業績評価項目に組み入れるなど、お客さまの安定的な資産形成に資する業績評価体系の整備に努めております。

取組方針 5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

⑩ 教育・研修の実施状況

- ・お客様の資産形成やライフプランに応じたお客様にふさわしい金融商品・サービスを提案できるよう、商品知識の習得や、コンサルティング提案スキルの向上、コンプライアンスの遵守等を目的とした研修を計39回開催しました。
- ・全職員を対象に、「お客様本位の業務運営に関する取組方針および取組状況」の公表内容等の周知ならびに顧客本位の業務運営の実践・定着を目的とした研修会を実施しました。

【教育・研修の実施状況（令和5年度）】

実施内容	実施回数
商品知識の習得を目的とした研修	21
コンサルティング提案スキルの向上を目的とした研修	14
顧客本位の業務運営の実践、コンプライアンスの遵守を目的とした研修	4